

いわざ民報

発行所 平野五丁目 釜屋商店
電話 二一三三
社報民きわい
一八三三 電話 二一三三
己克輝千 人行 銀行
く除を 日曜月但 刊 日
十三三三 一 月 十 日 一 年 二 十 二 第

急速業務の開始を

湯本自治会館に懇談会を

湯本二石川 省管バス問題

湯本町から上遠らうトラックの試運転を行はれ、野村根岸を経て、湯本町下山道局長等一石川町に通ずる行は二十一日湯本町に於て午後湯本一石川間一時から入山館に關係有力者の省管バス實現をはじめ沿岸町村長、業者、一問題は関係内縣議等との交渉をもとめてこれが實現の他関係有現議談會を開催、種々忌憚のな力者の協力により意見の交換を行つて業務開始の期を急ぐこととなり期待するところの運びとなり得る大きなものがある

炭礦労働協議會結成

十九日にマルトモホールで

各炭礦労働代表者は去る五日常中の處二萬四千二百二十八回十八等炭礦に協議會を開いた、結果に達したので左の割で交付し全國炭礦労働組合協議會として(カッパ内は世帯数) 一人三〇回(四七)二人五〇回(六七)三人七〇回(四二)四人九〇回(三二)五人一一〇回(二二)六人二二〇回(一七)七人三三〇回(一四)八人四四〇回(一〇)九人五五〇回(七)十人六六〇回(五)十一人七七〇回(三)十二人八八〇回(二)十三人九九〇回(一)十四人一一〇〇回(一)十五人一二〇〇回(一)十六人一三〇〇回(一)十七人一四〇〇回(一)十八人一五〇〇回(一)十九人一六〇〇回(一)二十人一七〇〇回(一)二十一人一八〇〇回(一)二十二回一九〇〇回(一)二十三回二〇〇〇回(一)二十四回二一〇〇回(一)二十五回二二〇〇回(一)二十六回二三〇〇回(一)二十七回二四〇〇回(一)二十八回二五〇〇回(一)二十九回二六〇〇回(一)三十回二七〇〇回(一)三十一回二八〇〇回(一)三十二回二九〇〇回(一)三十三回三〇〇〇回(一)三十四回三一〇〇回(一)三十五回三二〇〇回(一)三十六回三三〇〇回(一)三十七回三四〇〇回(一)三十八回三五〇〇回(一)三十九回三六〇〇回(一)四十回三七〇〇回(一)四十一回三八〇〇回(一)四十二回三九〇〇回(一)四十三回四〇〇〇回(一)四十四回四一〇〇回(一)四十五回四二〇〇回(一)四十六回四三〇〇回(一)四十七回四四〇〇回(一)四十八回四五〇〇回(一)四十九回四六〇〇回(一)五十回四七〇〇回(一)

引揚戦災者 援護金交付

市社で昨午海外引揚者及び日午後一時から歸郷上り下さる引揚者に対する救護金を募集

民生安定を 誓約

平野お巡りさん きよりの座談會 町中で平野のボリスさんが十時

釜屋商店

郡の供米急上昇

十七日現在八十六パーセント突破
お米どころ石城の供米は地方事務所経済課、食糧、平野の民主化された強力な奮闘と農民の供出意欲によつてアイ路となつていた輸送難を完全に克服、供出率は急上昇を示すにいたつてゐる
十七日現在で既に八十パーセント突破、供出完納町村に十ヶ町村を数えているが、残る二十ヶ町村も完遂一歩手前の七十パーセントにあり郡の完納も今一息と期待する處大なるものがある

加入者の 出資求め

小名濱町の 電話共電化 工事問題に 當り一日平均二十名の職工の止宿並に食糧加増問題について町では各加入者から五十圓乃至百圓の出資を求めて解決に乗り出す計をたて十七日臨時町常會に はかることがあつた

郷土藝能コンクール

郷土藝能の健全な發展と引揚者、戦災者及び生活困難者に対する援護資金造成を目的しての郷土藝能コンクールは十九日午後一時と午後六時の二回平野市街民衆劇場で同協賛會平野支會の主催、本社に市役所の後援で開催するが出演申込みは十七日締め切られたが、左の如く花柳舞踊を始め三團体二十余名に達しているので早くも人気盛んである

配給米を盗む

内郷町大字日雇夫鈴木傳義(三三)は平野二丁目製靴業松崎直重方に雇はれ中昨年十月十六日配給米九升三合、大麥三升、小麥一升七合、短靴一足、中古ズボン一着等を盗み逃走中を十六日平野に検挙

譲度

新田電著(姓名在社) 木の雨(他) 生天白草 浪曲 (ねす) 小僧時代 佐藤源吉、寸劇 阿彌陀佛 輕音楽(旅のつばくろ) 白澤樂團、浪曲 成能藏 同(谷間の灯)箱崎勝美 歌謡曲 旅行歌(他) 正木猛外二名

服地類の配給協議

きのう市郡五地區統組が、各地區統制組合の合同協議會は十六日午後一時から平野市統制組合に於て開催、この程に制られた

魚類配給は 町内會扱に

漁業會適配廢止 小名濱の改善案 小名濱町の鮮魚配給は従來漁業會直所を各區に設けて實施して来たが、年に約三十万圓程度を要し、その犠牲の割に効果的でないところから町當局では直所を廢し各町内會に取扱はせ、町内會切符制に依つて各家庭に公正に配給するといつた方法をとり改善案を樹立、十七日臨時町常會を開いて提案協議するところあつた

衣類泥御用

四倉町新漁夫谷末吉(三三)は仲間の高橋三郎の洋服其他を手始めにこの外四軒から衣類二十六点を盗み賣却費消していたこと發覺十七日平野に檢舉

分配に悩む 短靴割當

五百人に一足の割 待ちに待つた短靴がきのう郡役官公署、銀行、會社職員をはじめ重要産業従業員等を優先的に配給されることになつてゐるが、このうちに平野の割當分もふくんでおり、郡市の總人口三十萬に比すると五百人に一足の割合で地方事務所でも分配法に頭痛の種となつてゐる

小名濱の火事

磐城合同貨物第一營業所から 民家二戸を全焼、二戸を半焼 十七日午前零時四十分頃小名濱きよさん方の三戸三棟を全焼、町中町警備合同貨物自動車小名濱第一營業所(社長渡邊長三郎) 巨匠テイウエが放つ クリーンヒット! 千里の道も遠からず 見よ公開迫る この巨篇! この名畫! 肉体と幻想 2/17 2日晝夜通し 内郷 第二イワキ 只今豫告篇上映中

警中出身者に告ぐ

同窓生諸兄の最近の動靜を左記に通知ありまし 平市 屋町福島無難金庫内(電二三一) 警中同窓會名簿編纂委員會 委員長 山森 正一

いわき宣言

湯本町と石川間の省管バス問題 下山道局長を急遽實

金庫は甲子 大型金庫、手提金庫、書庫 在庫豊富 福島縣一手販賣 廣屋商店 小名濱町下町電一六八番

移轉御知らせ 強制疎開のため平野市城山の自宅に於て診療中のごとく十七日より従前通り隣前に於て診療を開始致しました

高柳醫院 電話九九九番 自宅 電三三三六

